

# 長崎県看護協会 会報

発行所 公益社団法人 長崎県看護協会  
〒854-0072 長崎県諫早市永昌町23番6号  
TEL(0957)49-8050(代) FAX(0957)49-8056  
発行責任者 西村伊知恵  
印刷 株式会社インテックス



Nagasaki Nursing Association

令和3年度 会長ごあいさつ	2	シンポジウム 「長崎県における医療的ケア児の 在宅療養支援」レポート	5
令和3年度 三職能委員会活動計画	3	地区支部だより	6~7
ホームページに アクセスしてみよう	4	病院紹介 長崎原爆病院	8

## 理 念

私たちは赤十字の使命のもとに、  
心のこもった質の高い看護を提供します。





## ごあいさつ

長崎県看護協会  
会長 西村 伊知恵

国内で新型コロナ感染が確認されたのは、昨年1月15日でした。あれから1年が過ぎ、第2波、第3波と続き、先が読めない状況が続いています。

会員の皆様には、不安と緊張が続く中、毎日の業務を遂行していただいていることに対し、感謝と敬意を表します。本当にありがとうございます。

ようやく、新型コロナウイルスワクチン接種の具体的なスケジュールが国や県から示され、医療従事者向け先行接種、医療従事者向け優先接種などが始まっています。実施体制が整うことでワクチン接種が可能になり、さらに治療薬の開発が進むことを切に願います。

さて、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、予定していた事業を中止あるいは延期せざるを得なくなり、皆様方にはご迷惑をおかけすることになりました。大変申し訳なく思っています。

理事会での協議を経て今年度の重点目標を、1.地域包括ケアシステムの充実に向けた看護の役割推進 2.健康で安全に働き続けられる職場づくりの推進 3.質の高い看護実践を支える生涯学習の推進と掲げました。計画的に事業を推進していけるように職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

# 令和3年度 **三職能** 委員会活動計画

## 保健師職能委員会 保健師職能委員長 市川ひとみ

保健師職能委員会は、委員長以下8名の委員で構成されています。保健師は、行政、産業分野、医療分野等と幅広い分野で活躍しています。毎月1回の委員会は、県、市町、企業、総合病院、健康事業団と、働く組織の違う委員が、保健師が取り組むべき健康課題について情報共有し、一緒に解決に向けた取り組みを考えてく場となっています。昨年度は特に新型コロナウイルス感染症での保健所や保健師の役割がクローズアップされました。

次年度は、三職能を対象に、地域の看護職間の連携を目指し「コロナ禍における地域包括ケアシステムの現状と課題」をテーマにした交流集会や異なる分野で働く保健師の各団体のネットワーク強化と共通する課題への取

組を目的にした「保健師ネットワーク会議」を計画しています。

また、令和2年度に保健師のネットワーク構築・キャリア形成に向けた研修として、新たに取組んだ新任保健師研修会・交流会は、新任(1～5年)の保健師の抱える悩みの共有や貴重な交流の機会となったことから次年度も継続して実施予定です。

令和3年度の保健師職能委員会の活動計画の詳細が決まりましたら、お知らせいたしますので、皆様の御参加をお待ちしております。

## 助産師職能委員会 助産師職能委員長 大町いづみ

全世代型地域包括ケアシステムの構築の実現が急がれる中、令和3年4月1日より「母子保健法の一部を改正する法律」が施行されました。本法は、家族等から十分な育児等の支援が得られず、心身の不調や育児不安等を抱える出産後1年以内の母親とその子を対象に、助産師等の看護職が中心となり母親の身体的回復や心理的な安定を促進するとともに母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかに生活できるように支援するため、産後ケア事業の全国展開を図ることを目的としたものです。本年度、助産師職能委員会委員8名は、医療施設、地域での母子保健活動実施と支援体制構築に向け以下の内容の研修会等により情報発信を計画しています。

1. CLoCMiPレベルⅢ認定研修2講座(オンライン研修)
    - ①「母子感染のリスクと対応」
    - ②「新生児のフィジカルアセスメント」
  2. 助産師の新人交流会(卒後1～3年の助産師)
  3. 国際助産師の日イベント(看護の道フェアと共催)
  4. 性教育セミナーの開催(県内小学校、中学校、高校20校まで)
- また、本年度の三職能合同研修会は助産師職能委員会で企画運営を担当します。テーマ「母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム構築に向けた看護職の連携」として、研修会、交流会を開催します。内容の詳細については、随時お知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

## 看護師職能委員会 看護師職能委員長 横山 藤美

看護師職能委員会は、I(病院領域)・II(介護・福祉関係施設・在宅領域)の委員13名で構成されています。

全世代型地域包括ケアシステム、地域共生社会の実現が急がれる中、看護職は、効率的かつ質の高い医療・看護を提供する上で、重要な役割を担っています。そして、高齢者の医療需要の増加に伴い、在宅領域での看護師の臨床判断能力がますます必要となってきております。IIでは「看護師の特定行為に係る研修制度の周知・普及」に関する実態調査を行います。そして、介護・福祉の現場では取り組みができていない身体抑制ゼロに対して、病院での現状を把握するため、Iでは、「病院における身

体抑制の現状」に関する実態調査を行います。

また、多様化・複雑化する人々のニーズへの対応に迫られる中、良い看護を提供するためには、患者家族と良い関係性を築くことが大切です。Iでは、2020年度に続き、「看護職に求められるコミュニケーション術とは 第二弾 ～医療者も受診者も共に助かる医療接遇～」のテーマで研修会&交流会を開催します。さらに、2019年度に三職能交流会で実施した「意思決定支援～アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の手法を知ろう～」の第二弾として「～実践を知ろう～」のテーマにて研修&交流会を企画しました。実態調査へのご理解・ご協力、研修会・交流会への参加をお願い致します。

ホームページが5月からリニューアルされます

# 長崎県看護協会ホームページにアクセスしてみよう

このページへのアクセスは「長崎県看護協会」を検索



委員会・支部活動については、こちらから



個人情報保護方針 | お問い合わせ一覧 | リンク集

キーワード検索

ページ内を検索できるようにしました

協会だより看護協会会報紙のバックナンバーも閲覧可能



### 日本の医療を救え

#NursingNow\_いま私にできること  
看護職へエールを！



お知らせ

すべて	協会より	教育研修情報	支部新着情報	県民のみなさまへ
2021年3月1日	協会より	協会よりを更新しました。		
2021年3月1日	教育研修情報	教育研修情報を更新しました。		
2021年3月1日	支部新着情報	支部新着情報を更新しました。		
2021年3月1日	県民のみなさまへ	県民のみなさまへを更新しました。		

最新の情報(総会・学会・講演等の案内)を大きく表示できページも入れ替わります

会員の特典として会員価格で研修を受けることができるとともに、会員との情報共有もでき看護の輪が広がります。

会員数

保健師	180名
助産師	209名
看護師	9,371名
准看護師	388名
合計	10,148名

令和3年2月15日現在

研修って何がある？



研修案内  
研修申し込みはこちらから

求人・求職の相談  
進路相談はこちらから

eナースセンター  
求人検索はこちらから

とどけるん  
看護師等の離職時の届け出はこちらから

- 入会のご案内 GUIDE
- 研修一覧 TRAINING
- 用紙ダウンロード DOWNLOAD
- お仕事探し・人材探し RECRUIT
- 会館利用のご案内 INFORMATION

- 長崎県 訪問看護サポートセンター
- 長崎県 看護キャリア支援センター
- eナースセンター
- 看護師等の届出サイト とどけるん
- キャリアナース
- ナースシップ 施設用WEB 施設代表者専用ページ

キャリアナース  
入会手続き、会員情報の変更手続  
日本看護学会論文集、調査研究報告などの閲覧  
や最新の看護関連図書の文献検索ができます



## スマートフォンでも 閲覧しやすくなりました!

# 「長崎県における医療的ケア児の在宅療養支援」レポート

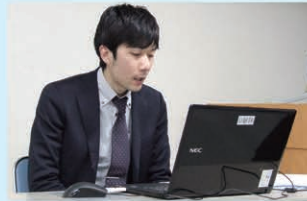
(長崎県委託事業：医療的ケアが必要な在宅小児等に対する支援事業)

日時：令和3年2月6日(土) 9:30~15:10 オンライン参加者108名 会場参加6名

## シンポジウム



長崎県福祉保健部医療政策課  
井口 喬 氏



長崎県福祉保健部障害福祉課  
西村 玄人 氏



長崎県県央保健所地域保健課  
保健師 小川 晴美 氏



長崎大学病院地域医療連携センター  
副看護師長 田中 初美 氏



訪問看護ステーション YOU  
所長 金子 和美 氏



長崎県立長崎特別支援学校  
看護師 井上 さおり 氏



社会福祉法人サンタマリア会ロザリオ保育園  
看護師 武本 信代 氏



患者ご家族様  
藤原 加奈子 氏

周産期母子健康センター等で長期の療養を要した在宅医療を必要とする小児等(以下医療的ケア児)の医療・福祉・教育の現状と課題について共有し、交流を図り連携構築のきっかけとなることを目的として開催されました。

「医療的ケア児の成長を支える医療・福祉・教育の看護」というテーマで、8名のシンポジストがそれぞれの立場から現状・実際または課題を話されました。

特別講演では、医療的ケア児にかかわる国の動きや組織体制、また日本看護協会として小児在宅移行支援指導者育成事業、看護提供体制への取り組みについて話されました。

### ●特別講演

## 「医療的ケア児とその家族の支援」

講師 日本看護協会 常任理事 井本寛子 氏



質疑応答では活発な意見交換がなされました。私自身医療的ケア児の支援に対し知らないことが多かったのですが、実際を知り、支援に対しても熱意をもって関わっておられ、会員の皆さんにも関心をもってもらいたいと思う研修会でした。患者家族が伝えたいこととして「保育園に行けたことで、子どもの表情が豊かになり、自我が芽生え健常児とふれあい成長できている」と話されていました。医療的ケア児に対する家族の愛着形成から在宅療養、発達成長の場である保育園や学校など、たくさんの職種が関わっており、医療的ケア児とその家族の笑顔のために、多職種連携による継続した支援が必要であると学びました。参加者からは「医療的ケア児の医療・福祉・教育に携わる多職種同士の連携は容易ではなさそう」「学校や保育所等、医療的ケア児に関わる場面で、頑張っている看護師の大変貴重な話を聞くことができた。」などの感想がありました。今後医療的ケア児に関わる看護師が増やせるような情報発信の必要があると感じました。



医療的ケア児関連の詳しい情報は、URLを掲載していますので下記をご覧ください。(記：長崎県看護協会広報出版委員長 原口)

### 各関連の URL

#### ■厚労省 医療的ケア児等とその家族に対する支援施策

厚生労働省ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 福祉・介護 > 障害者福祉 > 医療的ケア児等とその家族に対する支援施策  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/shougaisihakushi/service/index\\_00004.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisihakushi/service/index_00004.html)

#### ■学校における医療的ケア実施対応マニュアル

日本訪問看護財団ホーム > 文部科学省 令和元(2019)年度 学校における医療的ケア実施体制構築事業  
<https://www.jvnf.or.jp/mext19-caremanual.html>

#### ■長崎県 医療的ケア児等の支援

長崎県ホーム > 分類で探す > 福祉・保健 > 障がい者 > 医療的ケア児等の支援  
<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/shogaisha/ikea/index.html>

# 地区支部だより



各支部の活動やお知らせをお届けします。

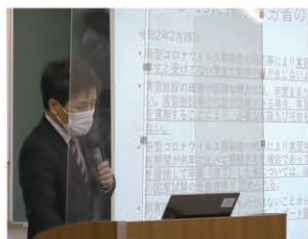


## 県南支部

支部長 増田 千代子

気候はすっかり春らしくなりました。今年の初めが、大雪から始まったのがつい先日の事のように。皆様は、いかがお過ごしでしょうか？

県南支部では、オンラインで施設代表者交流会を2月20日に行いました。テーマは【新型コロナウイルス感染症拡大による臨地実習への影響について】



長崎大学生命医科学域(保健学系)看護実践科学分野・准教授 永江誠治先生に講演して頂きました。コロナ禍で臨地実習を経験できなかった新人看護師を医療現場でどう受け入れるか、看護学校での教育の実際を知り新人教育に繋げるを趣旨に行いました。

年々複雑になる医療現場において、どのように新人看護師を育成しようか悩まれている施設も多く、質問もあり大変参考になる講演になりました。

職能委員会によるヘルシーワークプレイス「看護職の夜勤の実態調査」の報告も行いました。まだまだ大変な時期ではありますが、春の空を見上げて精進していこうと思います。



## 県央支部

支部長 中尾 理恵子

過ごしやすい「春」となりました。会報が届く頃は、医療従事者の「新型コロナウイルスワクチン接種」が一通り終了しているのでしょうか？地域の皆様へのワクチン接種が安全に無事終了するまで大変だと思いますが、よろしくお願い申し上げます。

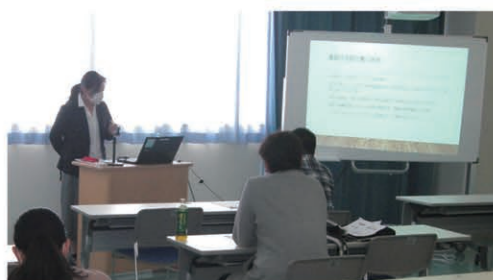
県央支部は、令和3年度長崎県看護協会の事業方針を受け、県協会と連携し活動していきます。新型コロナウイルス感染症対策についての看護補助者を含めた研修会の開催、高校生のふれあい看護体験の場として訪問看護の追加などです。また、「看護職連携構築ネットワーク会議」を開催し、「在宅困難な事例」を通して看護師と保健師の連携について考えたいと思います。支部の運営計画については6月の会員集会で報告いたします。懸案事項である愛野地区と島原・南島原地区の統合については、移動距離の問題を考慮し、①令和3年度は地区の統合は行なわない②会計と書記を兼任とすることにしました。会員施設と県協会の連携を強化し活動していきますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。



## 県北支部

支部長 山崎 純子

県北支部では、心電図基礎編、心電図実践編、2年目看護職員研修会、フィジカルアセスメント(呼吸)、ターミナルケア、排泄自立支援と予定していた6つの研修会を開催することが出来ました。コロナ禍での研修開催となり、定員数を減少し密を避けると共に、感染対策を強化し実施しました。研修日程の変更を余儀なくされた研修もありましたが、各研修担当者が講師と小まめに連絡を取り、準備を行ったことでスムーズに進めることが出来ました。密を避けるためグループワークが出来ず、十分な意見交換が出来なかったのではないかと不安が残るところではありますが、参加者からは「参加できてよかった」との意見もいただきました。本当にありがとうございました。2021年度も研修運営委員会では、コロナ対策を踏まえた研修開催を行っていきたく考えております。研修への参加お待ちしております。





## 下五島支部

支部長 眞弓 陽子

下五島地区では、コロナ禍の中イベント活動できない状況ですが、感染対策・ソーシャルディスタンスを保ち10月「災害医療について」11月「精神医療について」12月「感染症の基礎知識② 最新の動向」のリモート研修を開催することができました。

12月の研修では東北大学名誉教授 賀来満夫先生より猛威を振るっている感染症COVID-19を中心にご講義いただきました。「離島で発生したらどうなるだろう」と不安な日々を過ごしていた中、最新の情報を得ることができました。新年早々初のクラスターが発生し大変ではありましたが、各部署がそれぞれの役割を果たし新たなクラスター、市中感染とならず終息してくれました。しかしまだまだ油断ができない状況です。私たち看護師も専門職として誤った情報や偏見に左右されず、最新の動向に目を向け、正しい情報収集・行動をしていきたいと思えます。

これからワクチン接種、5月の「看護の日行事」が無事に開催できるよう努めてまいります。



## 上五島支部

支部長 頭島 利江子

コロナ禍で「我慢」や「無理」があたりまえになってきたでしょうか？前年度は企画した研修会、まちの保健室、地域イベントでの救護支援、ふれあい看護体験など、ほとんどが中止となり、思ったように支部活動ができませんでした。

今年度は、久しぶりに「看取り」に関する研修会と、産科医による、「離島で必要な産婦人科の知識」についての研修会を予定しております。また、未来の医療従事者育成のため、看護の心にふれあえるような「ふれあい看護体験」を計画しております。

「我慢」や「無理」の中にも少しでも何か希望をみつけて、日々を過ごせるように心より願います。



## 壱岐支部

支部長 鋸崎 くみ子

壱岐市は人口25,943人、65歳以上の高齢化率37.7%(令和3年1月末現在)の島です。高校を卒業すると進学や就職のために島を離れる若者が多く、年々人口減少に歯止めがかからない現状です。市内には5つの病院・12の診療所を有し、9つの高齢者施設があります。現在看護協会員98名と支部の中でも、最も最少人数で活動しておりますが地域に寄り添う看護・ケアを目指し、少しでも興味を引く研修を計画し、今年は会員数100人を目標に頑張ります。

### 研修会の案内

日 時: 令和3年7月 18:30~20:00 場 所: 長崎県壱岐病院第1会議室  
テーマ: ポジショニングとスキンケア 講 師: 皮膚排泄ケア認定看護師 横山操先生



## 対馬支部

支部長 山田 久美子

コロナ禍で思うように研修会の開催ができない中、令和3年1月16日、離島就業看護職研修会をZoomを使用し開催しました。

テーマ: やってみたい褥瘡の予防! ~スキンケアと体圧分散ケアについて~

講 師: 佐世保共済病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 前田紹美先生

キャリア支援センターと対馬病院2か所、上対馬病院、介護施設の5か所を繋ぎ、29名が参加しました。受信環境も問題なく、わかりやすく説明していただき、今後活かせる内容で、とても好評でした。Withコロナでは、このような研修形態が主流となるのでしょうか。一日も早い終息を祈るばかりです。



# 病院 紹介

## 長崎原爆病院



日本赤十字社長崎原爆病院は、赤十字の使命のもと地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、そして地域災害拠点病院として地域医療に貢献する315床の急性期病院です。2020年3月新病院がグランドオープンとなりました。急性期一般病棟・地域包括ケア病棟、および訪問看護ステーションを有し、地域包括ケアシステムの実現に向けて近隣の医療施設との連携強化を図っています。院内においては、ペイシャント・フロー・マネジメント(PFM)を充実させ、多職種で協働・連携した入退院支援に取り組んでいます。また、安全で安心

できる医療を提供し、がん治療をはじめとした様々な治療に対して自分らしく生きるための意思決定を多職種で支えるための体制作りを注いでいます。そして、看護部では『心のこもった質の高い看護』を理念に掲げ、キャリア開発ラダーの教育体制のもと、看護師が自身のレベルに合わせたキャリアアップに取り組んでいます。

世界的にCOVID-19が拡大している中、私たち職員はこの非常事態に“明けない夜はない”との思いで、赤十字としての災害医療救護活動を担い、感染を正しく理解し日々できることを粛々とやろうと一致団結しています。そのための職員の健康管理、メンタルヘルスケア、感染防止対策の強化にこれからも取り組んでまいります。



多職種カンファレンスの場面



赤十字救護活動へ



PNS 場面  
お互いに協力します!

コロナ退散!



Fish!  
3月おひなさま



新人職員教育研修・IVナース研修風景♥  
じっくりと知識・技術を修得できる機会です!

